

お茶の水女子大学

第48回 日本言語文化学会

2014年6月28日 (土) 13:30-14:30

共通講義棟1号館304教室

日本語教育の経験と 日本語の考察

* 予約不要 (直接会場にお越しください)

* 参加費 500 円 (会員は無料)

お茶の水女子大学 日本言語文化学会

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

E-mail: genbun@cc.ocha.ac.jp

水谷信子先生講演会



現在に至る日本語教育界の動きと私の教授経験、その中で開発した教授法の実践の概略を紹介し、長年にわたる日本語教育経験の中で観察・実感した日本語の性格、すなわちジグザグ的談話の展開と共存意識の表れとみられるあいづちや補助動詞の使用等について語る。

水谷信子先生は、東京女子高等師範学校文科(国語・漢文)修了、東京大学文学部イギリス文学科卒業、フルブライト留学生としてミシガン大学で英語学を学ばれました。

その後、国際キリスト教大学英語科日本語助手、スタンフォード大学日本研究センター教授・副所長を経て、1986年にお茶の水女子大学に文教育学部教授として着任。1991年には大学院人文科学研究科日本語文化専攻(現日本語教育コース)の設立に尽力。1995年にお茶の水女子大学退官後、明海大学外国語学部教授、明海大学別科長を歴任の後、2014年3月明海大学応用言語学研究科客員教授を退任。

ご研究領域は日本語教育及び日英対照研究で、日本語教育の方法、談話の展開の日英対照、「あいづち」、「非用」(水谷先生による造語)、「事実志向」と「立場志向」、「対話」と『共話』(水谷先生による造語)などに関する論文や著書多数。主な著書として、ジャパンタイムズより *An Introduction to Modern Japanese*, *Nihongo Notes*, vols.1-10 (出版文化賞受賞)、くろしお出版より『日英比較話しことばの文法』、凡人社より『総合日本語中級』など。

>> お問い合わせ: sasaki.yasuko@ocha.ac.jp

なお、講演会終了後、日本言語文化学会のポスター発表・口頭発表が予定されています。